

建築地盤工学

ガイダンス

なぜ学ぶか

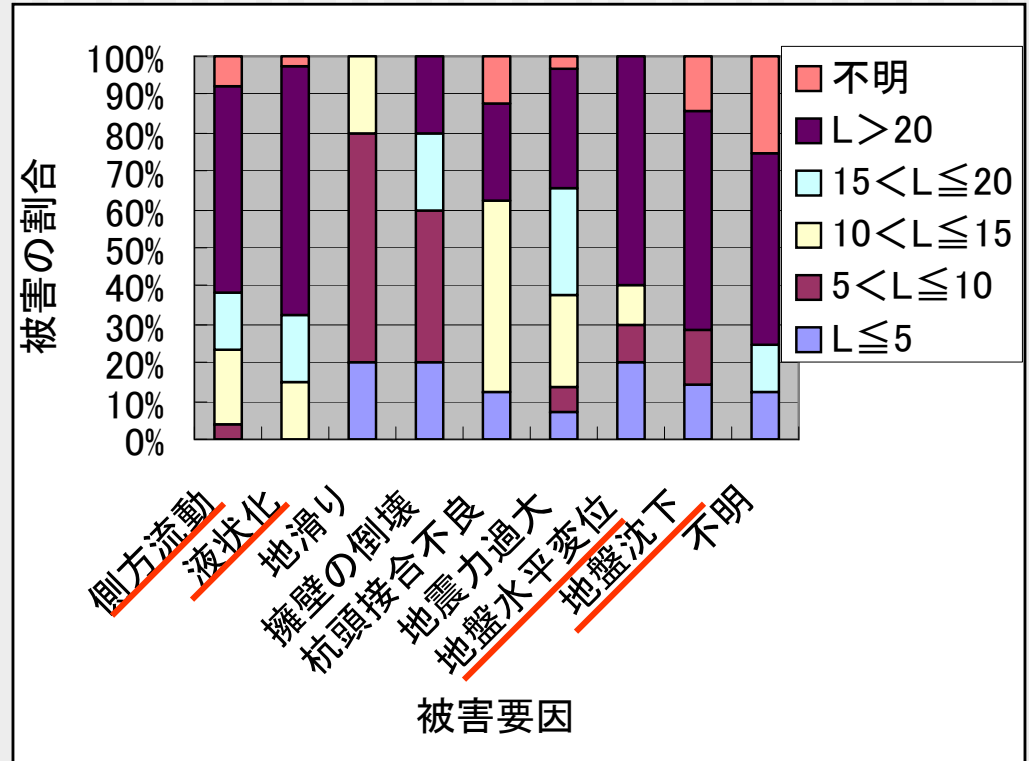
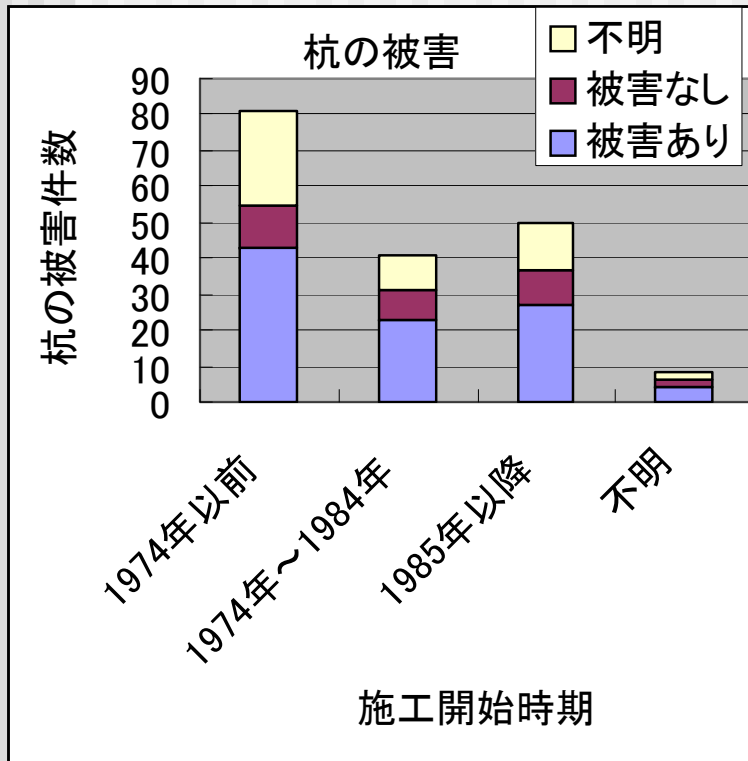
- 地盤の不安定な敷地に建物を建設することを避けて通れない。
- 地盤の場合、常時の荷重による不具合（不同沈下）が起きやすい。
- 地震時に地盤変状による建物被害が数多く発生している。
- 地盤調査結果を解釈できない技術者が数多く見られる。
- 専門用語を理解することで他の技術者とコミュニケーションを取れるようにする。

地盤と地震被害

- 地盤による被害が起きやすい場所
 - 軟弱地盤
 - 埋め立て地, 盛土, 旧河川
 - 土地条件図や古地図で確認できる
- 被害の要因
 - 地震動の増幅
 - 地盤の液状化, 塑性化による地盤の大変形

阪神・淡路大震災で得られた教訓

地盤変状にともなう杭被害大



講義内容

- 地盤の成り立ち
- 地盤調査法
- 地盤の強度理論
- 地盤沈下の理論
- 液状化地盤とは？
- 直接基礎の設計法
- 杭基礎の設計法
- 地盤と建物の動的相互作用